



耐震対策を考えよう

平成7年に発生した阪神・淡路大震災では、地震により6,434人の尊い命が失われました。このうち地震による直接的死者は5,502人であり、その約9割が住宅等の倒壊によるものでした。

このときに被害を受けた建物の多くは昭和56年以前に建てられたものでした。

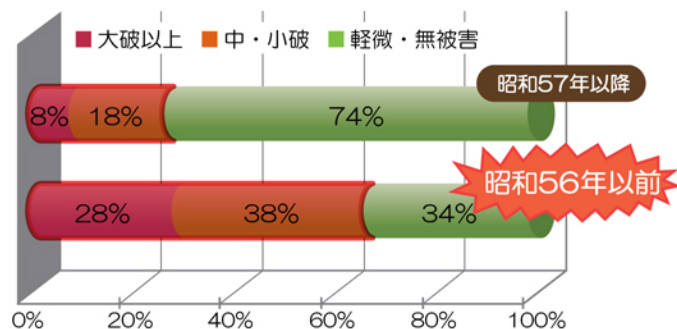


図 阪神・淡路大震災での建物被害状況

昭和56年以前の建物は、古い耐震基準に基づいており、耐震性が低く、揺れによって被害を受ける可能性があります。ほかにも壁の少ない建物も要注意です。

建物の安全性が気になる方は、専門家による耐震診断を受けましょう。



災害用伝言ダイヤル「171」を覚えておこう!

大災害発生時は、電話がかかりにくい状況が数日続くことがあります。このような状況下では、「自分の安否を家族や知人に伝達する」ための「災害時伝言ダイヤル171」や「災害用伝言板」が開設されます。このサービスを利用することにより、家族や知人の安否を確認することができます。

～災害用伝言ダイヤルのご利用方法～

伝言の録音方法

171にダイヤル
 ↓
 「1」をダイヤル
 ↓
 * 電話番号 (市外局番から)
 ↓
 伝言が録音される

伝言の再生方法

171にダイヤル
 ↓
 「2」をダイヤル
 ↓
 * 電話番号 (市外局番から)
 ↓
 伝言が再生される

* 電話番号には、それぞれ次の番号を市外局番から入力してください。

【被災地の方】

自宅の電話番号、または連絡を取りたい被災地の方の電話番号

【被災地以外の方】

連絡を取りたい被災地の方の電話番号

※詳細は「NTT東日本 災害用伝言ダイヤルホームページ」を確認してください。

<http://www.ntt-east.co.jp/saigai/voice171/index.html>

携帯電話会社各社では「災害用伝言板」を開設します。

- NTT docomo iMenu → 災害用伝言板
- au KDDI EZweb → 災害用伝言板
- SoftBank Yahoo! ケータイ → 災害用伝言板
- WILLCOM 公式サイト/H LINK → 災害用伝言板
- EMOBILE EMnetサービス → 災害用伝言板

